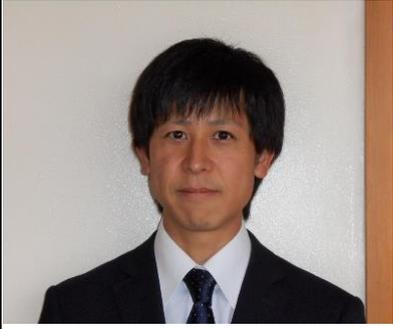


ふりがな 氏名	しばた ゆうどう	都道府県	福岡県	
	柴田 祐道			
所属/肩書	大牟田市立手鎌小学校 / 教諭			
関心・活動のSDGs				
私のESD活動	地域とのつながり、かかわりを深める食育を通して、地域・農業を愛し、ともに行動する子どもを育てる。			
活動の概要				
<p>大牟田市立手鎌小学校の校内研究を通じて、「大地に生きる手鎌 わたしたちがつなぐ農業と食文化」というテーマで活動している。教科間の「つながり」を意識したカリキュラムマネジメントを行っており、単元を貫く学習課題を位置付けた問題解決型の単元構成の工夫をすることで、児童の主体的な学びを促した学習過程を仕組むことができている。</p> <p>例えば、総合的な学習の時間において、第5学年「伝えよう、手鎌の食文化『串だご』を未来へ」の学習単元では、地域の土地を広げていくために干拓をしていたことや、そこでの辛い干拓労働から生まれた「黒崎がたいね踊り」の歌詞から、米作りと串だごの関係性に疑問を持たせながら学習課題を位置付けることで、育てたい児童像に迫った。また、教科間の「つながり」を図り、家庭科において、第6学年「いためてつくろう 朝食のおかず」の学習単元では、これまでの朝の生活をふり返し、「朝食づくりプロジェクト計画を立てる」という学習課題を位置付け、家庭実践につなげることで、食への関心を深め、健康な実践力を育てることができ、育てたい児童像に迫った。</p> <p>「歴史と里山の会」や「瀧いね保存会」の方々や地域の方々など、学校と地域を農業と食文化でつなぐ活動を通して、地域の一員としての自学を深め、まちづくりに参画・貢献する意欲と態度を育て、さらに他教科との関連を図ることによって、子どもたち自身の食への関心を深めることができた。</p>				
<p>・「ユネスコスクールへようこそ」大牟田市立手鎌小学校 http://www.unesco-school.mext.go.jp/index.php?key=mugtsk3yk-18&search=1</p>				
私が考える教育の未来像				
<p>教育のベースにある「人と人のつながり」を大切に、「和」を重んじたつながりの「輪」を広げていきたいと思っています。目指す未来像に向かって、仲間とともに「やってみよう」という一歩踏み出す勇気を持って行動できる子どもたちを育てていきたいです。</p> <p>そのために、「体験的な活動」を多く取り入れたカリキュラムマネジメントを行っていきたいと考えています。持続可能な社会づくりを担う人材の育成を図るためには、「体験的な活動」の中にある主体的な活動による困難体験や協働的な活動による成功体験などを通して、やってみる楽しさやつながる良さを実感することができればと考えています。</p>				
私の強み、活かせる経験やスキル				
<p>私自信の強みは、教諭という肩書だけでなく、僧侶という肩書を持っており、地域とつながることや幅広い年齢層とのかかわりを持っていることです。また、教諭を東京都でも経験しており、都会と地方をどちらも経験しています。そのため、物事を多面的・多角的に考えることができると考えて交流ができると考えます。さらに、ICTの研究を進めていたこともあり、新たな学びの実現に向けたアイデアを生み出すことができると考えます。</p>				